

エネルギーデバイス事業戦略 (二次電池事業)

エネルギーデバイスビジネスカンパニーCEO
指田 史雄

Amperex Technology Limited COO
Joe Lam

◆エナジーデバイス事業

- ステージ1：2006年3月期-2017年3月期
- ステージ2：2018年3月期-

指田 史雄

◆ステージ2におけるターゲット市場及びアプリケーション

Joe Lam

◆エナジーデバイス事業

- ステージ1：2006年3月期-2017年3月期
- ステージ2：2018年3月期-

指田 史雄

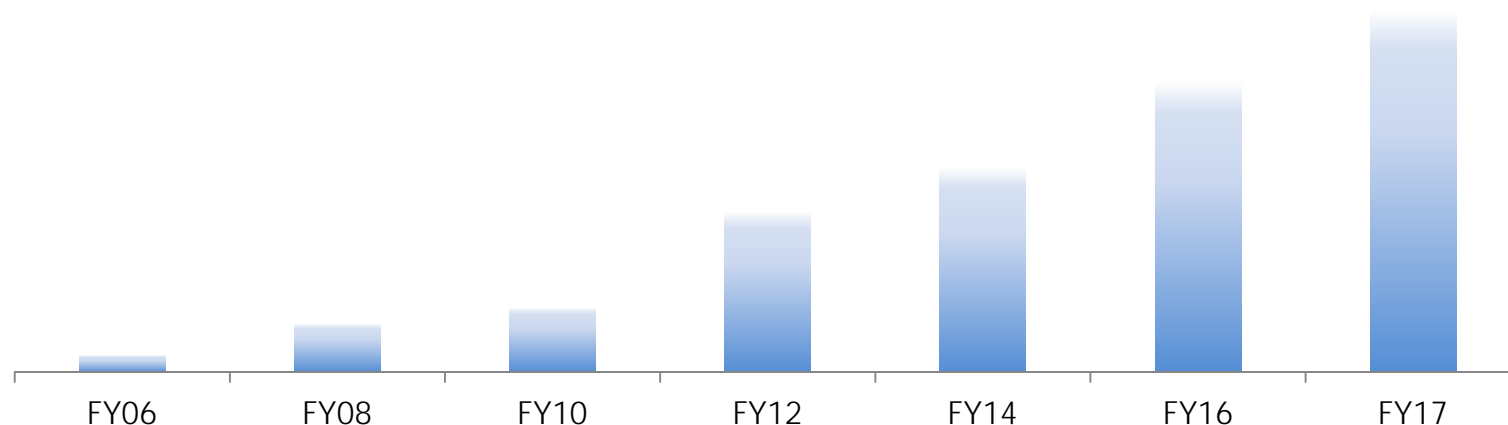
◆ステージ2におけるターゲット市場及びアプリケーション

Joe Lam

ステージ1（2006年3月期-2017年3月期）

- ◆ 当社の製品：パウチセル型電池（ニッチからメイン製品へ）
- ◆ ターゲット市場：ICT市場
- ◆ アプリケーション：Bluetooth、MP3、スマートフォン、タブレット端末、ノートPC…
- ◆ 当社の強み：ICT産業における市場変化と顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応できること

売上の推移（2006年3月期-2017年3月期）



ステージ2（2018年3月期-）

◆ 全体戦略

- 高信頼性、高安全性の電池に向けた次世代技術への投資
- 継続的な技術イノベーション

◆ 対象市場/アプリケーション:

- ① ICT市場：スマートフォン、タブレット端末、ノートPC…
⇒ 強固な事業基盤確立のために市場平均より高い成長を実現する

[事業機会]

- ✓ 角型電池からの置換え
- ✓ 新興国の需要開拓

- ② ICT以外の市場 & 産業機器市場

- ドローン、AR/VR、ロボット、AGV、ESS/UPS、電動工具…
- ⇒ パウチ型電池のユニークな特徴を活用し、市場における巨大な事業機会を獲得する

[今後の挑戦]

- ✓ 顧客へのソリューションと高付加価値の製品を提供
- ✓ 製品の信頼性及び安全性に対するより高い要求

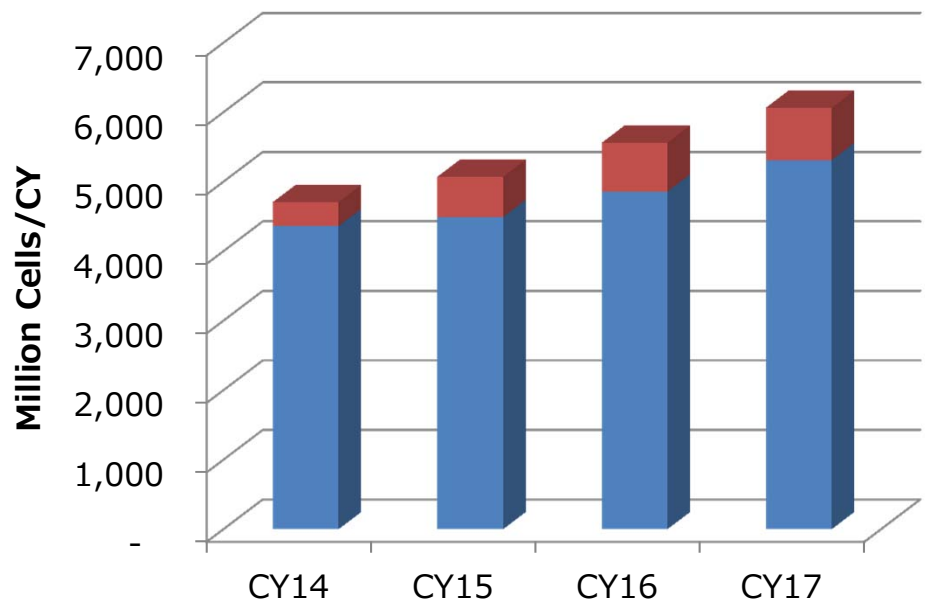
◆エナジーデバイス事業

- ステージ1：2006年3月期-2017年3月期
- ステージ2：2018年3月期-

指田 史雄

◆ステージ2におけるターゲット市場及びアプリケーション

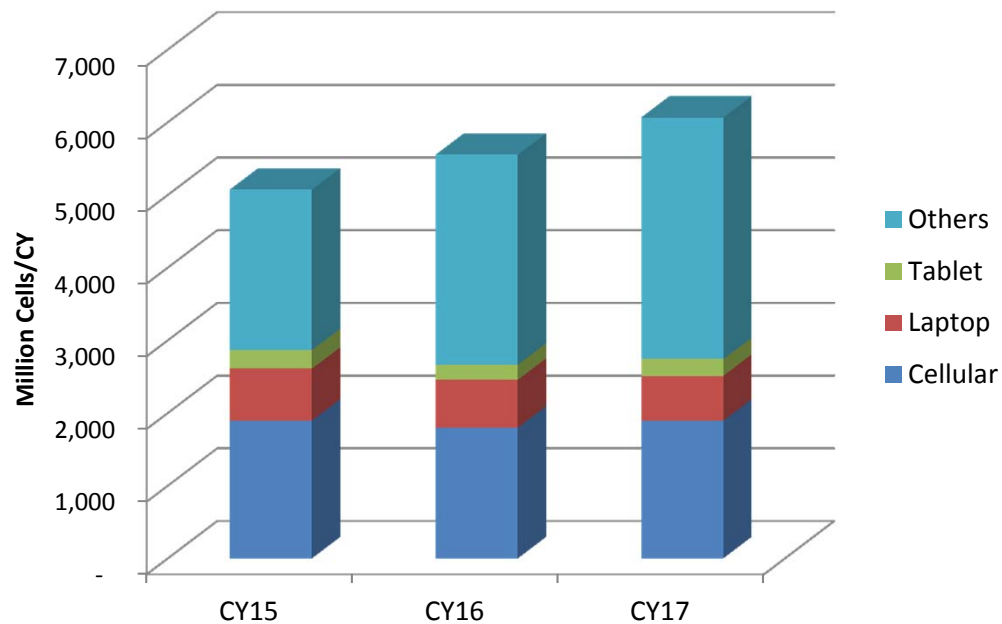
Joe Lam



TDKと市場の高い成長

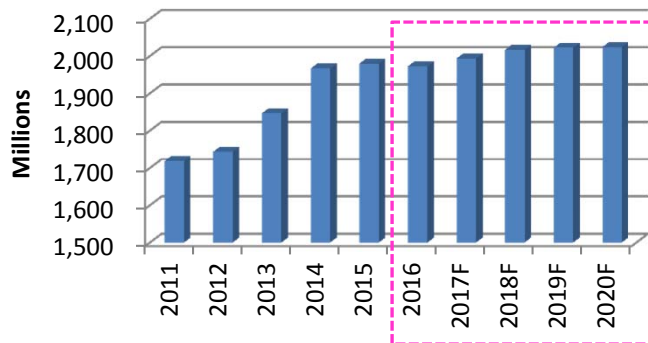
- ATL
- Others

アプリケーション別

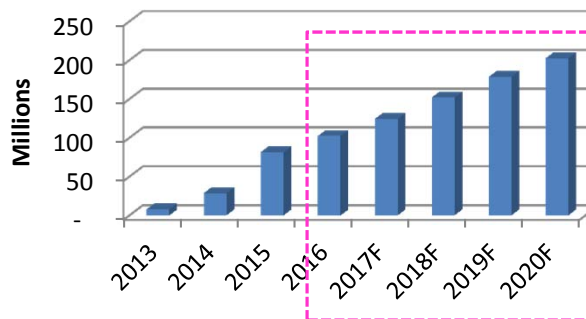


出所: B3 Report 2017 (円筒型及び角型電池含む)

スマートフォン（成熟）

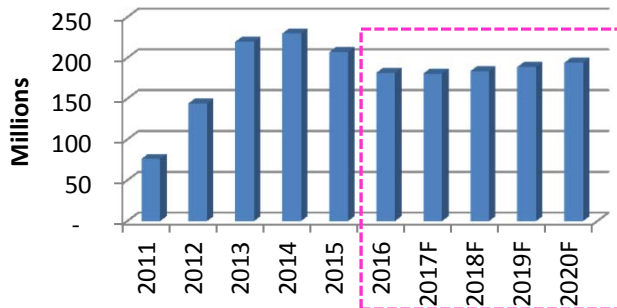


ウェアラブル（急速な成長）

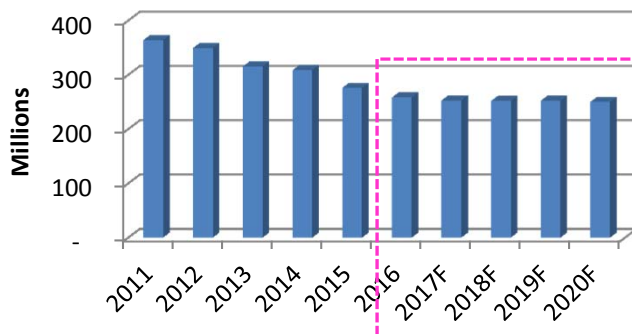


Source: IDC 2017 (including cylindrical and prismatic)

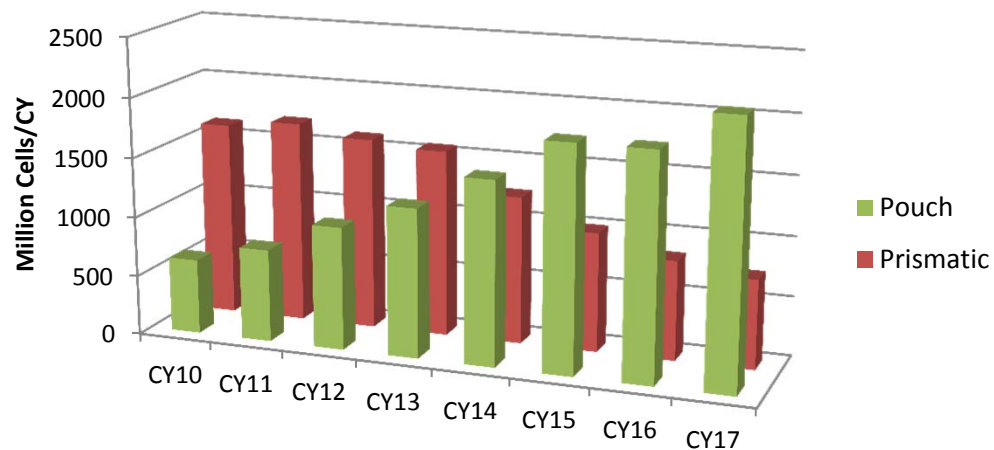
タブレット端末（回復）



ラップトップPC（安定）

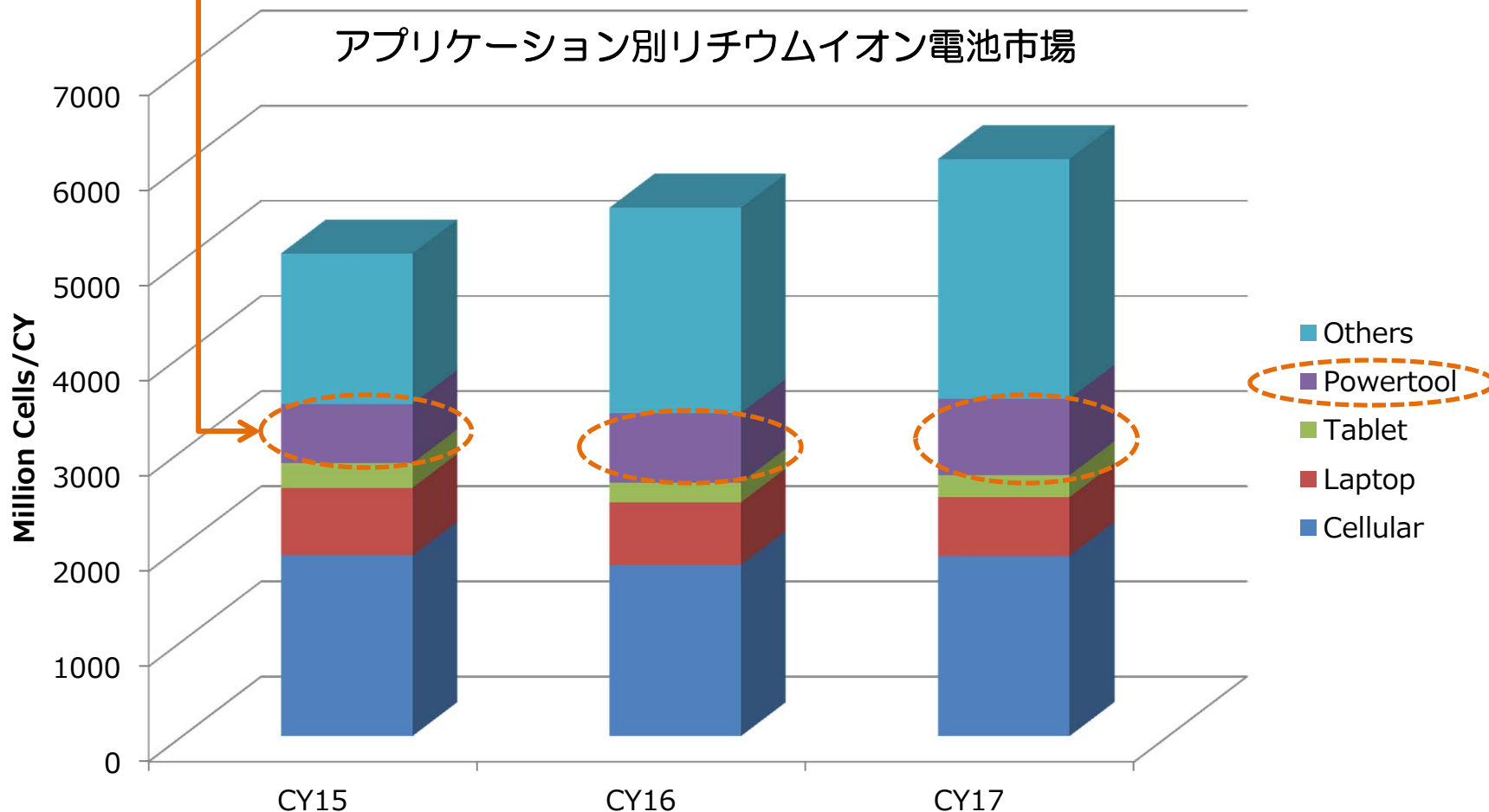


タイプ別リチウムイオン電池市場の状況



出所: B3 2017

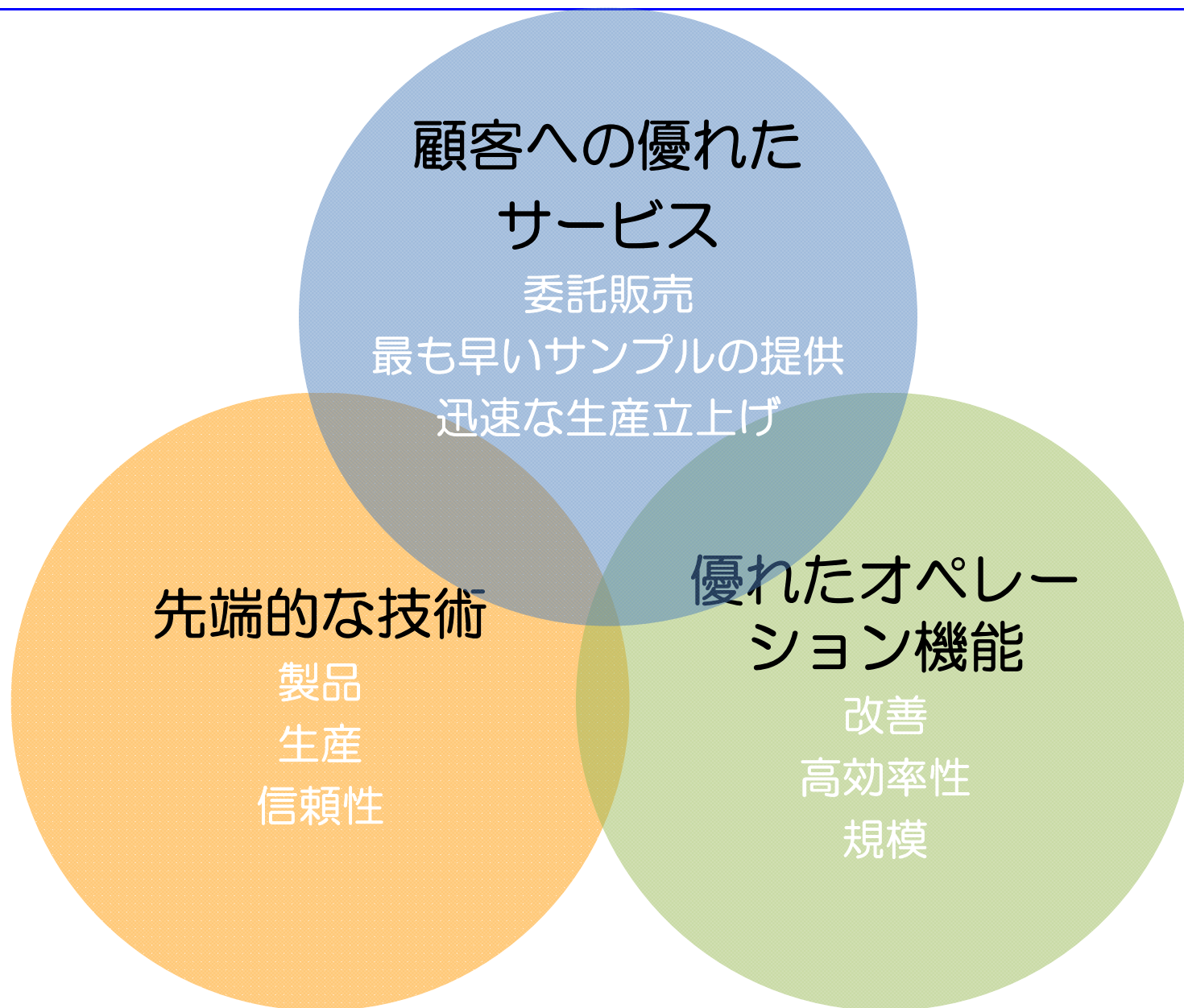
電動工具の市場はラップトップPCの市場と同等の規模



出所: B3 Report 2017(円筒型及び角型電池含む)

市場	市場状況	アプリケーション	成長実現の手段
コンシューマ エレクトロニクス	既存市場	スマートフォン ノートPC タブレット端末	角型電池からの 置換えによる 有機的な成長
コンシューマ エレクトロニクス / 産業機器	新規市場	AR/VR ドローン ロボット	新規開発
コンシューマ エレクトロニクス / 産業機器	既存市場	AGV ESS/UPS	新規開発
コンシューマ エレクトロニクス / 産業機器	既存市場	電動工具 ガーデンツール 清掃機器	新規開発





この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

